

学校だより

# 南京はぜ

「子どもたちの夢の実現に向けて」

学校教育目標

「かしこく・やさしく・たくましい子」

二小っ子根っこづくり運動

- 進んでいきさつ、元気な返事
- はきものそろえ
- 勉強集中
- だまってそうじ
- 元気に外遊び



## 「学校の登下校には、いろんな学びがある」

～車での登校をせず、子どもには歩いて登校させましょう～

### ①歩くことは最も手軽な有酸素運動

登下校は、ほぼ毎日のことですから、歩いて登下校することにより、継続的な有酸素運動で健康になるとともに、体力作りができます。

血液どろどろの肥満体の子どもを育てないためにも、しっかり歩かせましょう。

### ②雨の日ならば、さらに学びは大きい

自分がぬれないように、どのように歩くか、傘をさすか、体験を通して学ぶ良い機会です。人が生きていく上で最も大切な判断力を身につけることができます。これは、本や大人の言葉からでは学ぶことのできない部分です。

自分では何も判断できない、実行できない子どもから脱却できます。

### ③耐性がつきます

昔の人は、「苦労は買ってでもせよ。」と言っていました。困難体験が強い心と体を育てるからです。暑い日も寒い日も雨の日も風の日も負けずに毎日歩いてくれば、それだけで強い子になります。

最近は、ちょっとしたことで、「俺もう無理」と投げ出す子どもが多いように感じます。これから自立するまでは受験、就職と困難の連続です。子どもには、耐性を付けてあげましょう。

### ④感性が育ちます

周りの植物の変化や空気や風の薰り、登校中のいろんな人とのコミュニケーション。心が育つ教材がいっぱいです。密室空間の車内では学ぶことのできないことが毎日、たくさんあります。心が乾いていると豊かな生活はできません。子どもの心を育てましょう。

ですので、せめて朝は毎日、「行ってらっしゃい！」と子どもの背中を押してください。

いずれ子どもは、親を離れて自立していくのですが、上記のことができていないと、いつまでも親離れできません。子どもは、実質年齢が18才（法的な成人年齢）になったから親離れをするのではなく、自分でやっていける準備が整ったから自立するのです。

実は我が子も23歳で自立する予定が、その予定が数年遅れています。親としては、いずれ定年退職で収入も減りますし、気力も体力も衰えていきますので、我が子の自立が遅れていることが最大の不安材料です。

朝、歩いて登校することから、子どもの自立の問題まで話が進みましたが、毎日の子育ては本当に大変です。保護者の皆様、毎朝お疲れ様です。

### 【靈丘コソコソ噂話】ヤッタゼ 二小！

速報ですが、本日の新聞に県学力調査の結果（小学校5年生）が公表されました。

国語の県平均が64.6%、算数が60.9%だそうです。第二小学校の平均は国語76.6%、算数67.5%で県平均を大きく上回っています。2~4年生の市学力調査も全国平均を上回っており、二小の学力の状況は良好だとれます。個々にはもう少し伸ばしたい部分がありますので、今後も引き続き指導を充実させます。